

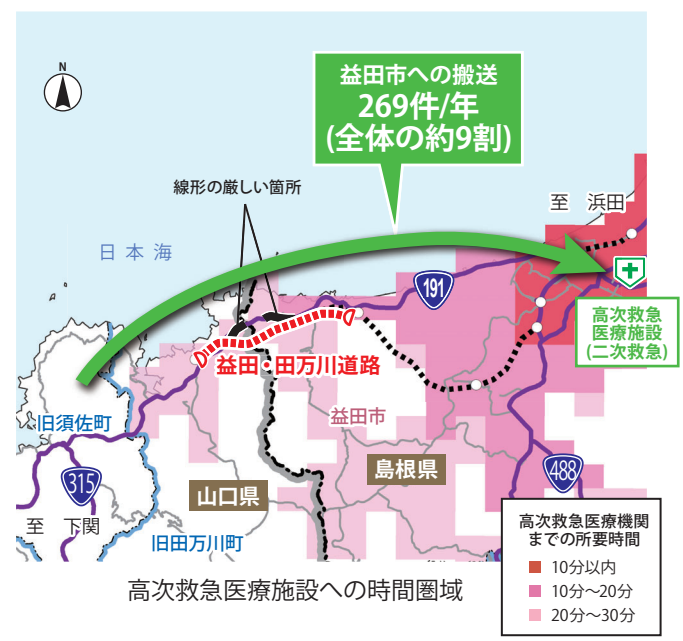
整備効果2 高次救急医療機関へのアクセス性向上、緊急医療活動を支援

山口県萩市(旧須佐町・旧田万川町)には高次救急医療機関がなく、重篤患者の救急搬送は島根県益田市の二次救急医療機関に依存しています。現在は課題の多い不安定な搬送ルートを利用せざるを得ない状況であり、線形の厳しい箇所等の緊急車両の走行時には、患者への負担が懸念されています。

益田・田万川道路の整備により、高次救急医療機関への搬送がより確実なものとなり、所要時間が短縮することで、地域住民の生活において安心感が向上します。また、当該道路を走行することで安全性が高く、より患者に負担が少ない搬送が期待されます。



国道191号の急カーブと急勾配が複合した箇所



※R3道路・街路交通情勢調査の昼間12時間平均旅行速度より算出。

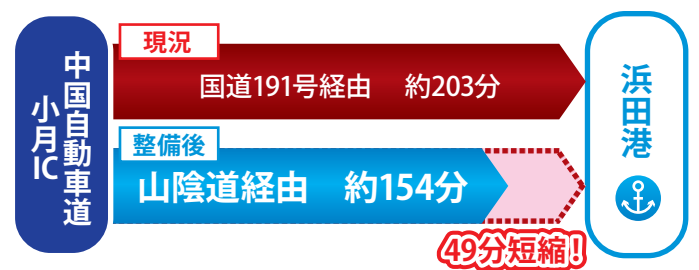
整備効果3 物流効率化により地域産業を支援

島根県では県内唯一の国際港である浜田港の利用促進に取り組んでおり、平成30年に合板生産拠点の拡張造成を行っています。合板生産拠点で使用する木材は、その約3割が九州地方から輸送されており、主な輸送経路である国道191号は線形の厳しい箇所や幅員狭小トンネルが存在し、輸送効率に影響するなど走行性に課題があります。

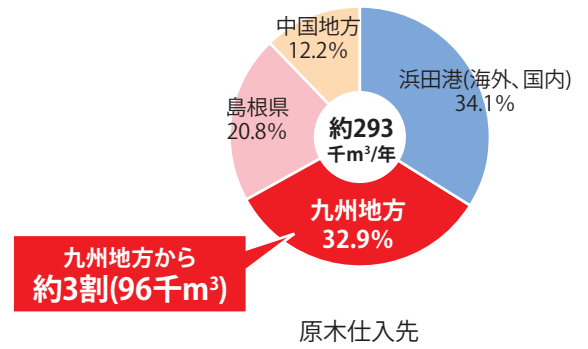
益田・田万川道路の整備により、安全・安心に輸送でき、輸送する貨物の損傷や破損を抑えることができます。また、九州方面から浜田港への移動時間が短縮することで、ドライバーや輸送車の疲労等を軽減し、物流効率化による地域産業のさらなる活性化が期待されます。



国道191号の幅員狭小トンネル



※R3道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を基に算出。
長門・徳山道路の旅行速度はETC2.0プローブデータ(R4.10)より算出。
【整備後】山陰道(事業中区間)の旅行速度は80km/hに設定。



令和8年3月 作成

一般国道191号 益田・田万川道路



※戸田IC(仮称)付近から下関方面を望む



凡 例	
	事業中区分
	一般国道(直轄管理)
	橋梁
	トンネル
	IC
	(山陰道) 事業中区分
	主要地方道
	一般県道
	市道
	JR
	令3年度交通量 R3全国道路・街路交通情勢調査

測量法に基づく国土地理院長承認(複製) R 2CGF 18 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

一般国道191号 益田・田万川道路の概要

山陰道の一部を形成する益田・田万川道路は、山口県萩市下田万～島根県益田市戸田町を結ぶ延長7.1kmの高規格幹線道路です。

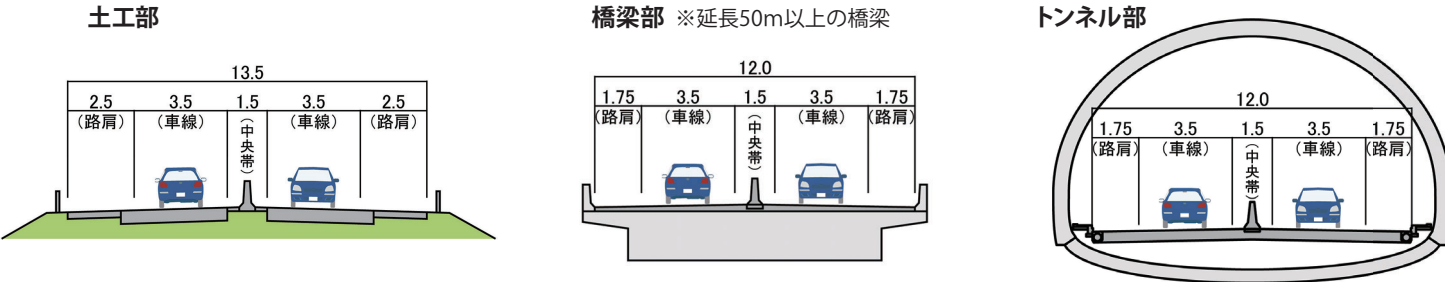
並行する一般国道191号は山口県萩市と島根県益田市を最短で結ぶ幹線道路ですが、急峻な山地を通過し、土砂災害警戒区域や河川の浸水想定区域等が存在しており、災害発生時には代替路がないため大幅な迂回を強いられることになります。

益田・田万川道路は、東側に隣接する益田西道路(事業中)等と連携して、災害時においても機能し、周辺各地へのアクセス性向上により医療活動の支援や物流効率化に寄与することが期待されます。

諸元	
延長	7.1km
起点	山口県萩市下田万 <small>はぎし しもたま</small>
終点	島根県益田市戸田町 <small>ますだし とだちよう</small>
道路区分	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	完成2車線
事業化年度	令和3年度

標準断面図

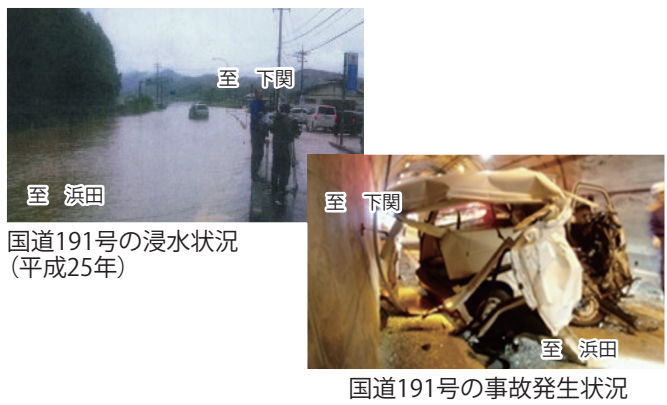
単位:m



整備効果1 信頼性の高い道路ネットワークの確保

現道の一般国道191号には線形不良箇所や幅員狭小トンネルが存在しており、過去10年間(平成22年～令和元年)にトンネル内部や線形の厳しい箇所で通行規制が3回発生し、延べ約18時間の通行規制が発生しています。これらが発生した場合、現在は一般国道315号等を通行する大幅な迂回が必要となっています。

益田・田万川道路の整備により、災害時の交通障害や道路寸断による大幅な迂回走行を解消し、よりスムーズで安全・安心な交通の確保が期待されます。



※R3道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を基に算出。